

2年 3学期【国語】 主な評価規準

単元	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
しを読もう せかいじゅうの 海が	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読し、語彙を豊かにしている。	詩を読んで想像したことや感じたことを共有している。	詩を読み、言葉のリズムや響きを味わい、イメージの広がりを楽しんでいる。
かさこじぞう	会話や情景を中心に言葉の響きなどに気をつけて音読している。	場面の様子に着目して、じいさま・ばあさまの行動や心情を具体的に想像している。	場面の様子や、じいさまとばあさまの行動や心情を思い浮かべながら読み、役割をきめて音読発表会をしようとする。
		「かさこじぞう」を読んで感じたことやわかったことを共有している。	
		音読劇をするとき、じいさま・ばあさまなどの行動や心情に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	
むかしあそび	昔から長く親しまれているかるた遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		自分たちのいる地域のかるたを探したり、グループでかるたを作ったりして楽しんでいる。
むかしのあそび をせつめいしよう	姿勢や口形、発声や発音に注意して、わかりやすく話している。	「むかしのあそび」について調べたことを、相手にわかりやすく伝えるように、話す事柄の順序を考えている。	新しく知った「むかしのあそび」を調べ、順序に気をつけてわかりやすく説明している。
主語とじゅつ語	文の中における主語と述語との関係に気づいている。		主語と述語の関係を理解し、主語・述語に注意して文を読んだり書いたりしている。
同じ読み方の漢字	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		同じ読み方の漢字があることを知り、意味や使い方を考えて、語や文の中で正しく書いたり使ったりしている。
こんなことが できるようになっ たよ	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	文と文との続き方に注意しながら、できごとの順序を考えて書き表し方を工夫している。	積極的に、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりし、学習の見通しを持って文章を書くようとしている。
		文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりしている。	

		文章に対する感想を伝え合い、お互いの文章の内容や表現のよいところを見つけている。	
音や様子をあらわす言葉	身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には音や様子を表すものがあることに気づき、語彙を豊かにしている。		積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、学習の見通しを持って文の中で使おうとしている。
組み合わせてできている漢字	第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。		漢字の組み合わせと、同じ部分をもつ漢字を理解し、正しく読んだり書いたりしようとする。
漢字の広場⑥ 1年生で学んだ漢字	1年生で習った漢字を使って、文や文章を書いている。	語と語や文と文との続き方に注意しながら、絵にかかれている様子がわかるように書き表し方を工夫している。	絵の中の言葉と前学年で配当されている漢字をもとに、絵にかかれている様子を具体的に書いている。
アレクサンダと ぜんまいねずみ	言葉には、事物の内容を表す働きや、読んで心に残ったことを伝える働きがあることに気づいている。	アレクサンダが考えを変えたことと自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもち、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。
		登場人物と主なできごとについて、感じたことやわかったことを共有している。	
		自分の思いが明確になるように、このお話を紹介するための簡単な構成を考えている。	
これまで これから		この1年間でふり返り、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	
		この1年間でふり返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	この1年間の国語の学習をふり返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合おうとする。